

# 施策評価管理シート

2013(平成25)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
生活環境部	夏秋 佳生	63-7496 (環境対策室)

施策体系	政 策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本施策	2	循環型社会の創造
	施 策	2	ごみの減量化とリサイクル

## 1. 施策の基本方針

Plan

- ・ 市民、事業者、行政が一体となって、ごみゼロ社会を目指します。

## 2. 目標

重点目標

Plan

- ・ ごみゼロ社会を目指すアクションプログラムに基づき、市民、事業者、行政が協働で、ごみの減量と資源化に取り組みます。
- ・ 燃やすごみに多く含まれている生ごみの資源化を推進し、ごみの減量を目指します。
- ・ 草木類の資源化を推進し、資源循環型社会の構築を目指します。
- ・ ごみ減量の基本である3R(リデュース、リユース、リサイクル)を推進します。
- ・ 不法投棄ごみを一掃するため、監視パトロール及び早期撤収に努めます。
- ・ アクションプログラムにおいて平成24年度の伊賀南部環境衛生組合(名張市と伊賀市旧青山町地域)の燃やすごみと燃やさないごみの合計目標排出量を20,000トンを目指します。

目標達成に向けた課題

Plan

- ・ 燃やすごみに約6割(重量比)含まれている生ごみの資源化収集は、ごみ減量に有効な施策ではありますが、収集の市内全域実施には、市民が取り組みやすい方法である週2回の燃やすごみに加えて、生ごみ専用収集を行うと新たな収集経費と民間堆肥化施設での処理経費が発生します。
- ・ 草木類の資源化を進めるために、せん定枝粉碎処理車を購入し、地域や学校等に向いて、せん定枝の資源化と資源循環型社会の構築を啓発していますが、人件費と車両メンテナンス費用等が必要となります。
- ・ 不法投棄の監視パトロール、不法投棄物・不適正排出ごみの撤収等を委託または緊急雇用創出事業を活用した雇用で行っているが、継続には費用が必要となります。

<行政評価委員会からの意見>  
意見なし

施策指標(目標)及び達成状況

Plan

Do

施策指標(目標)の内容 (単位)		現状値 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2015 (H27)	進捗率
一人一日あたりのごみ排出量 (g)	目標	-	-	-	-	959.0	942.0	
	成果	1,006.4	923.5	900.0	902.7	901.3		100%
家庭から排出される一人一日あたり燃やすごみの量 (g)	目標	-	-	-	-	335.0	321.0	
	成果	364.7	358.6	353.0	355.0	358.5		14%
家庭から排出される一人一日あたり燃やさないごみの量 (g)	目標	-	-	-	-	37.1	36.5	
	成果	37.6	31.7	38.1	38.9	36.7		82%
ごみのリサイクル率 (%)	目標	-	-	-	-	30.5	31.5	
	成果	27.3	30.3	30.9	31.1	31.8		100%
ごみの減量・分別・資源化を実施している市民の割合 (%)	目標	-	-	-	-	-	94.0	
	成果	-	-	-	93.6	92.5		H25取組分より評価対象

## 3. 取組内容

課題解決への取組内容

Do

- ・ 第三次ごみゼロ社会を目指すアクションプログラムに基づき、市民、事業者、行政が協働して、3R実践行動に取り組みました。
- ・ 第三次アクションプログラムの取組状況並びに生ごみ資源化の試行事業の結果を踏まえ、平成25年度から平成27年度の第四次アクションプログラムの策定に取り組みました。
- ・ 草木類資源化の推進については、資源循環型社会構築推進事業(緊急雇用創出事業、10割補助事業)として、せん定枝粉碎処理車を活用して、資源化作業の実演を行うなど環境学習に取り組みました。また、家庭用のせん定枝用小型破碎機の貸出しに加え、購入費補助の支援を継続して行いました。
- ・ 不法投棄対策は、パトロールを強化するとともに、不法投棄物の回収に取り組みました。

<行政評価委員会からの意見に対する取組内容>  
意見なし

地域等との連携、協働に向けた取組 **Do**

- ・積極的に地域や学校等に出向いて、環境学習に取り組みました。
- ・各地域から名張市地域環境推進員を選出いただき、研修会を通じて情報の共有化を図るなど、ごみ減量・資源化の推進、不法投棄の根絶に向けた連携体制に取り組みました。
- ・不法投棄については、地域、警察、三重県、郵便局、河川管理事務所、ダム管理所等と連携して対策を行いました。

4. 施策達成のための事務事業及び評価 (合計 8 事業) **Do** **Check**

事務事業シート番号	事業名・担当室名 (事業名の印は、市長の重点施策事業を示しています)	事業費 (単位：千円)		担当室による評価			部局による評価		
		2011 (H23)	2012 (H24)	事務事業の 施策への 貢献	地域づくり 組織等との 連携・協働	事務事業 シートでの 今後の 方向	施策 達成 への 貢献度	施策 達成 への 重要度	
1086	ごみゼロ・リサイクル推進事業	環境対策室	9,585	8,945	A	実践している	継続(改善)	A	A
1087	環境委員活動事業	環境対策室	1,978	1,279	A	実践している	継続(改善)	B	B
1090	不法投棄対策事業	環境対策室	2,418	400	A	実践している	継続(拡大)	A	A
1095	草木類リサイクル事業	産業政策室	9,976	2,497	B	実践している	統合検討	B	B
1202	資源循環型社会構築推進事業 (緊急雇用創出事業)	環境対策室	0	8,268	A	実践している	継続(改善)	A	A
1203	不法投棄ごみ撤去事業 (緊急雇用創出事業)	環境対策室	0	8,141	A	実践している	H25完了予定	A	A
3041	生ごみ処理機器購入費補助金	環境対策室	560	453	A	検討している、今後可能性がある	継続(改善)	B	C
6075	ごみ対策費	環境対策室	112	161	-	該当しない	継続(拡大)	-	-
合計(単位：千円)			24,629	30,144					
小計(うち、一般会計分)			24,629	30,144					
小計(うち、特別会計・企業会計・組合会計分)			0	0					

5. 部局による施策評価 **Check**

評価
事業内容・規模等の見直し
成果・評価理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみゼロ社会を目指すアクションプログラムの改訂にあたっては、名張市快適環境審議会委員、庁内、議会、市民の意見等を聴取しながら進めてきました。</li> <li>・一人一日あたりごみ排出量は、家庭ごみの有料化以降大きく、減少させることができ、既に目標を達成することができました。</li> <li>・家庭から排出される一人一日あたりごみ量のうち、燃やすごみは微増したものの、燃やさないごみは少し減少し、これまでの成果を維持することができました。</li> <li>・緊急雇用創出事業を活用して、せん定枝等の資源化及び不法投棄対策に取り組むなど、実践活動を通じ、環境学習に資することができました。</li> </ul>

6. 今後の施策の方向性、改善方法 **Action**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成20年4月の家庭ごみ有料化により、大幅なごみの減量化が図られ、成果も継続できていることから、平成25年10月より成果の還元として、指定ごみ袋の価格引下げを行うこととしていますが、この成果を維持できるよう引き続き、3Rの学習会・啓発に取り組んでいきます。</li> <li>・生ごみの資源化については、試行結果を踏まえ、抜本的な検討を加える一方で、排出者個々の減量化の取組について支援・啓発を強化します。</li> <li>・ごみのリサイクル率の向上に向け、使用済小型電子機器等の再資源化の検討を進めます。</li> <li>・草木類の資源化、不法投棄対策については、地域、関係団体、関係機関等との連携・協働を行い、補助事業等の有効活用にも努めます。</li> </ul>
---

7. 総合評価

評価
B 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われている
評価理由及びその他(意見)